



MMS衛星に搭載するFPIイオンセンサ

NASA様MMS衛星に搭載するFPIイオンセンサを納入いたしました！

2005年度よりアメリカ航空宇宙局(NASA)様/サウスウェスト研究所(SwRI)様/宇宙航空研究開発機構(JAXA)様と協力して開発した「MMS搭載FPIイオンセンサ」は、3月1日に最初の2台をSwRI様に納入し、米国マーシャルスペースフライトセンター(MSFC)様へ搬入されました。

「MMS衛星」は、地球磁気圏全体の構造とダイナミクスをコントロールする磁気圏境界層や磁気圏電流層におけるプラズマの輸送、加速、加熱に関わるプラズマ素過程を解明することを目的とした衛星です。1機の衛星に4台のイオンセンサ及びエレクトロンセンサが搭載され、4機編隊(計16台)で観測を行います。当社はイオンセンサの開発を担当し、今年度中に16台を完納する予定です。

明星電気は、NASA様を含む国内外の衛星に数多くの宇宙粒子を観測するセンサを納入した実績がありますが、同一仕様製品を16台納入するのは今回が初めてであり、明星電気の品質が高く評価された結果によるものです。本ミッションを契機として、今後海外の衛星に当社の衛星観測機器の展開を図っていきます。

(当社営業担当:官公ソリューション営業部 小林 忍)



平成大堰に設置された計測震度計システム(強震計測装置(上)と検出器(下))

大分県山国川河川事務所(平成大堰)様で明星電気の計測震度計システムが運用開始！

山国川は、その源を大分県中津市山国町英彦山に発し、周防灘に注ぐ幹川流路延長56km、流域面積540km²の一級河川です。その山国川の下部の平成大堰は、河川の水を安全に疎通させながら、増大する水利用に応じていくことを目的としている重要な設備です。今回、国土交通省九州地方整備局山国川河川事務所様の強震計測用測定装置に購入で明星電気製の計測震度計システム(S104)が設置され、平成大堰の安全管理に活用されています。

明星電気の技術が水資源豊かな九州の河川でも管理・運営のために役立てられています。

(当社営業担当:九州支店 田中琢也)



フェア会場(上)と明星電気ブース(下)の模様

株式会社岩崎様主催展示会に地震防災対策機器と水位観測システムを出展！

4月12、13日の両日、北海道地区の当社販売店である株式会社岩崎様が主催した総合展示会「岩崎トータルソリューションフェア2012」が札幌市で開催され、明星電気が出展しました。同展示会は今年で45回目を迎え、「計測技術・ICT(情報通信技術)を活用したインフラ整備へのミッション ～ステージ2～」をテーマに岩崎様の事業分野別に5つの展示ゾーンが設けられました。展示ゾーンの一つ「環境・防災対応ステージ」の明星電気ブースでは、地震防災システムとして計測震度計(S210)とQCAST®受信ユニットや水位観測システムのほか、参考出品として、スマート気象計(ソラテナタイプ)とスマート振動計をご紹介します。特にスマート気象計は、気象観測データの少ない場所にきめ細かくセンサを設置することで、道内の基幹産業である農業分野などへのデータ提供を実現するソリューションとして、参加者の注目を集めました。

(当社営業担当:北海道支店 加藤 敬、セールスサポートグループ 松永 喬)

FROM UNDERWATER TO OUTERSPACE

明星電気は先端技術を活かし、～人と社会の豊かな環境づくりに貢献する～を

テーマに水中から宇宙までをカバーする世界のトータルソリューションプロバイダーを目指します。